

令和8年度 当初予算

移住定住・集落維持、子育て、産業・
雇用、保健・医療・福祉 etc…

令和8年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。

一般会計の予算額は、41億3,530万円（前年度比4.0%減）となりました。

近藤町長就任直後の予算編成であったため、令和8年度の当初予算は既存の事業や経常的経費が中心の骨格予算とし、前年度からの継続事業、4月始めから必要な経費などを盛り込んでいます。町長の施政方針に基づく政策的な事業につきましては、6月補正予算以降に肉付けを行っていきます。

一般会計予算総額は41億3,530万円（前年度比4.0%減）

☑ 一般会計

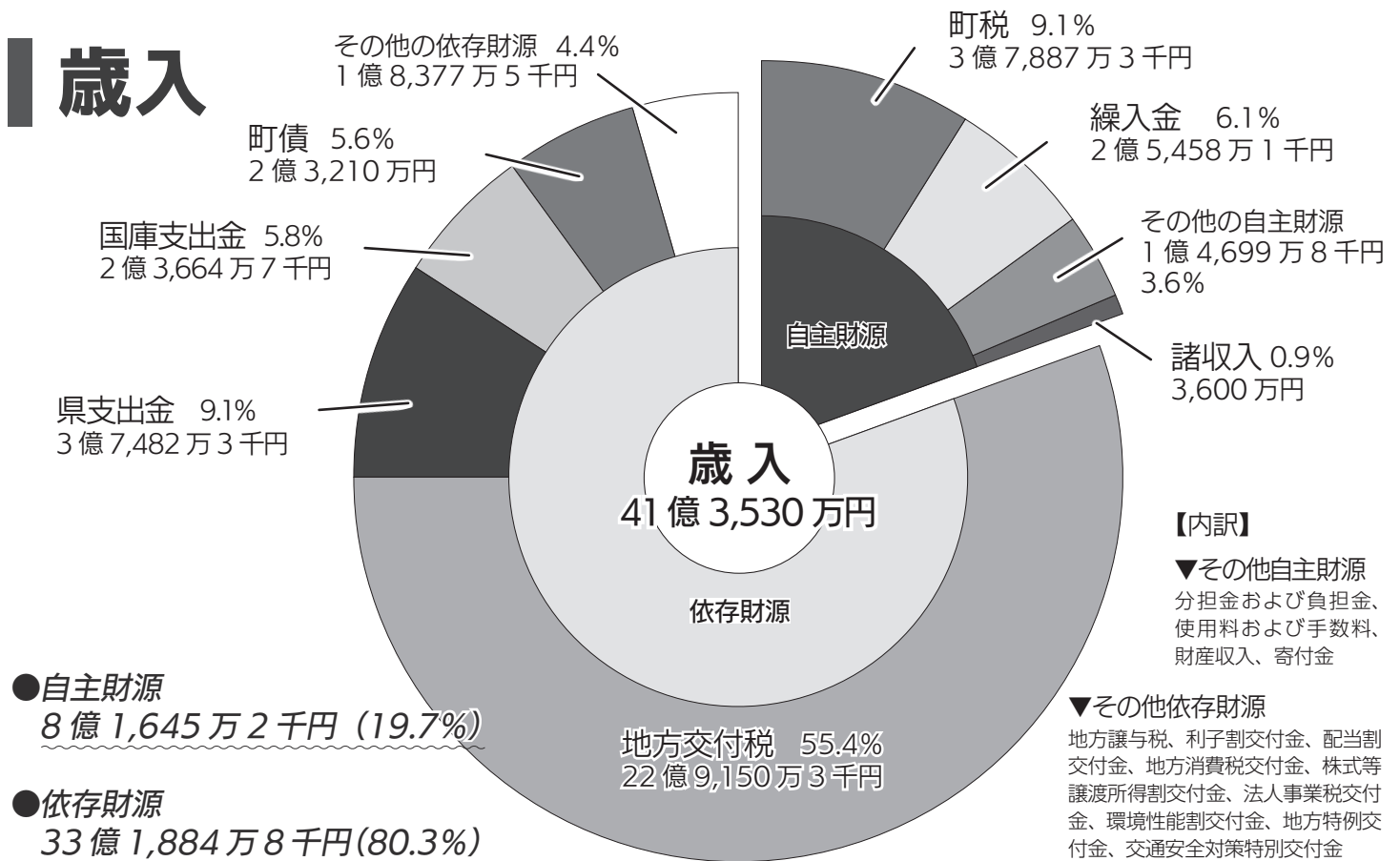
歳入全体を詳しく見ていくと、

・町の「自主財源」は、主に町民税や固定資産税、軽自動車税などの町税や使用料などで、8億1,645万2千円（19.7%）。

・地方交付税などの国や県に依存する「依存財源」は、33億1,884万8千円（80.3%）。特に、国から交付される地方交付税は22億9,150万3千円と、歳入の約55.4%と大きな割合を占めています。そのほか、県支出金が9.1%、国庫支出金が5.8%、町債が5.6%と続きます。

財政の健全化、そして限られた予算の中で、町の特色を生かしたまちづくりが求められています。財政健全化を進めながら、きらり日野町創生戦略に基づく施策を着実に実施していきます。

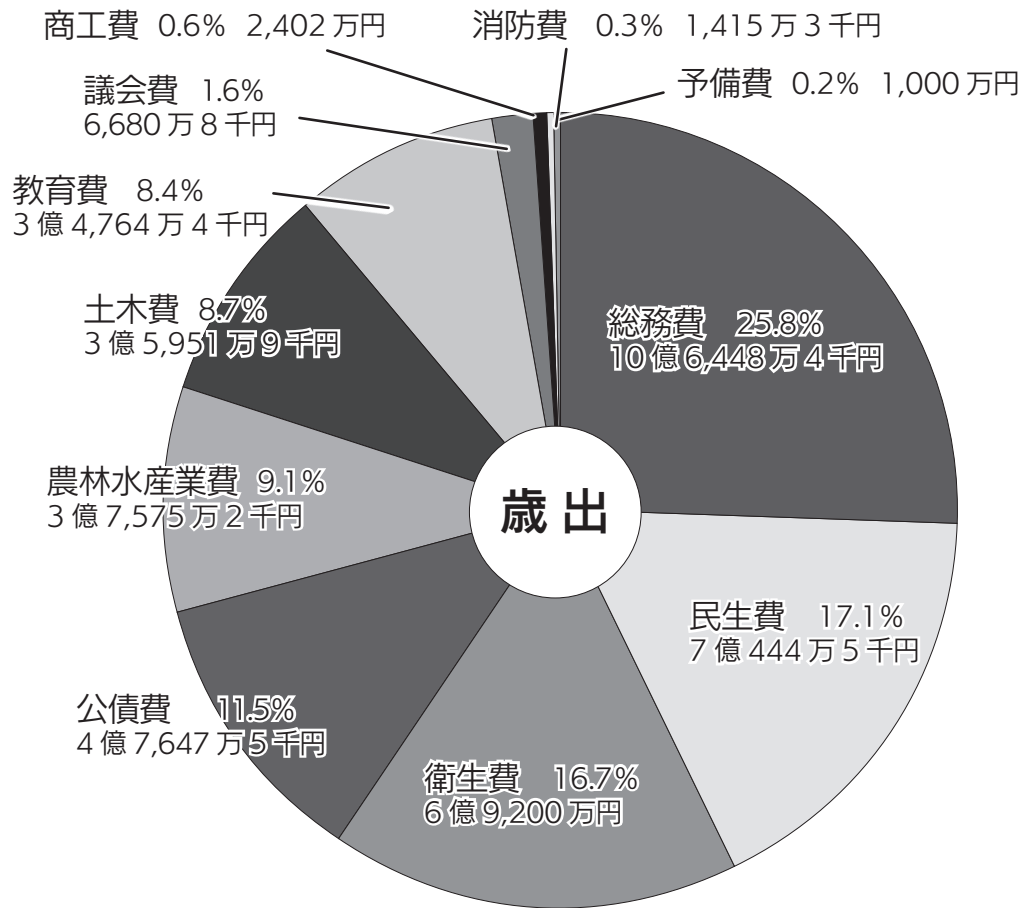
歳入



歳出

・歳出全体に占める割合で見ると、一番大きな割合を占めるのが、庁舎管理や防災、移住定住・空き家対策などの総務費で、10億6,448万4千円（25.8%）。保険・医療・福祉などに使われる民生費・衛生費は、それぞれ7億444万5千円（17.1%）、6億9,200万円（16.7%）です。学校教育や公民館運営などに使われる教育費は、3億4,764万4千円（8.4%）。義務教育学校日野学園の運営や、日野高校の魅力化に取り組みます。

・そのほか、地域資源を生かした産業振興、観光振興などの充実を図ります。



●一般会計歳出総額 41億3,530万円

国民健康保険、介護保険、水道 etc… 特定の目的を持った会計

☑ 特別会計

会計名	本年度当初	前年度比
国民健康保険	3億4,873万8千円	△14.6%
介護保険	5億9,653万5千円	1.8%
後期高齢者医療保険	8,535万2千円	15.3%
合計	10億3,062万5千円	△3.6%

☑ 事業会計

会計名	本年度当初	前年度比
簡易水道	2億8,438万5千円	62.0%
下水道	2億7,181万4千円	9.8%
合計	5億5,619万9千円	31.5%

町の予算には、一般会計とは別に運営される特定の目的を持った会計があります。当初予算の特別会計の総額は10億3,062万5千円、事業会計の総額は5億5,619万9千円です。

特別会計や事業会計は、収支のバランスを取るため、一般会計から多くのお金を繰り出しています。今年度は、2億4,634万8千円。国民健康保険、後期高齢者医療保険、簡易水道、下水道にかかわる繰り出し金は前年度より減額、介護保険にかかわる繰り出し金は前年度より増額となっています。

町では、この繰り出し金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進を行っています。このほか、介護予防や健康づくりによる医療費抑制に取り組んでいますので、ご協力ください。

★次ページでは、本年度の主な事業の概要を紹介します。